

佐保会兵庫県支部だより

第 27 号

佐保会兵庫県支部事務局

神戸市北区北五葉2-3-8
〒651-1131 TEL・FAX 078-592-1464



元気の素

副支部長 川口 登美子 (S39 家食)

日本は世界一の長寿国となりました。毎日のようにテレビや新聞には健康に関する情報があり、しかも専門的で最新のものばかりです。食を学んだ者として、それに関する分野は興味深くなるべく見るように努めています。

買い物に行けば、「ポリフェノールを含んだワインをどうぞ!」とか、「緑茶を飲んでカテキンをとり免疫を強くしましょう!」等々。また、会食の席でも「納豆は血液サラサラに良い」と話題に事欠きません。しかし食物の選択は難しく偏食の人も多いようです。サプリメント類も沢山出回っていますので、どうか佐保会の皆様には正しく情報をキャッチされてお元氣にお過ごしいただきたいと思えます。

かつて私は「佐保会なんて自分の行く所ではない」とか、「知らない先輩に出会っても」と、本部便りや支部便りに目を向けることもなく過ぎていました。たまたま今から10年前、卒業後30年の同期会を開くに当たり、準備の一端を担いました。その際、佐保会兵庫県支部の一年先輩の方からご親切なご指導を賜りました。これがきっかけとなり佐保会に参加させていただき、不思議な元気の素をいただいております。

クラス会という横のつながりに加え、佐保会という縦の交流があれば、織物を作る時の縦糸と横糸のような関係ではないと思えます。

佐保会兵庫県支部の活動には、新卒の人から卒寿を過ぎた人までの参加があります。初めての人もどうか参加していただき、もう一つの元氣をもらってください。

過去が懐いている今、未来の蕾で一杯な今、皆さんのご健康とご活躍をお祈りします。

平成15年度 佐保会兵庫県支部総会

平成15年5月25日（日）神戸ポートピアホテル



卒寿を迎えられた方々

5月25日、今年も恒例の支部総会を、ポートピアホテルで催しました。出席者72名のうち、卒寿を迎えられた方々が4名、お元気なお顔を見せて下さいましたのは、ほんとうにうれいことでした。



支部長

秋里 三和子 (S27文)

兵庫県支部草創のころのご苦労や、戦中戦後を生きてこられた貴重なご体験などをお聞かせ頂き、一同大いに元気をいただきました。また新卒会員1名の出席もあって、そのフレッシュな自己紹介にさかんな拍手が送られました。

佐保会兵庫県支部もこうして伝統を受け継ぎながら、めまぐるしく変わっていく新しい時代に対応する努力を、いっそう続けていかねばと思っております。

来年も6月6日に同じ会場で支部総会を予定しております。是非お運び下さいますように。またもより会、睦会、若草、婦人学級など兵庫県支部独特の集まりも、それぞれの役員の方々のご協力で運営されています。こちらにも皆様のご参加をお待ちしています。

卒寿のお慶び

- | | |
|---------|-------|
| 八木 静子様 | (S9文) |
| 中村 俊子様 | (S9文) |
| 笹倉 道枝様 | (S9文) |
| 小山 ヤエ様 | (S9理) |
| 橋爪 よし子様 | (S9理) |
| 岩木 延子様 | (S9家) |
| 立石 睦子様 | (S9家) |

プログラム

物故者に対し、黙禱

- 1 開会のことば
- 2 支部長挨拶
- 3 新入会員紹介ー自己紹介ー
- 4 議長選出
- 5 議事
 - ① 平成14年度事業報告
 - ② 平成14年度会計報告
 - ③ 平成14年度会計監査報告
 - ④ 平成15年度役員承認及び紹介
 - ⑤ 平成15年度事業計画
 - ⑥ 平成15年度会計予算
 - ⑦ その他
- 6 記念品贈呈
- ① 卒寿のお祝い
- ② 卒後55年のお祝い
- 7 講演

富田信子氏 (S32文英)

朝日カルチャーセンター講師
元京都放送アナウンサー

「ことばの泉を汲み出そう」
ー語り・朗読が教えてくれたことー
- 8 来賓の挨拶
- 9 会食
- 10 各部報告
 - ① 本部報告
 - ② 佐保短大報告
 - ③ 大学婦人協会報告及び新役員紹介
 - ④ 佐保婦人学級報告
 - ⑤ 「若草」報告 (平成15年度委員紹介)
 - ⑥ 「睦会」平成15年度担当者紹介
 - ⑦ 第27号「支部だより」編集委員紹介
- 11 閉会のことば



— 講 演 —

「ことばの泉を汲み出そう」

— 語り・朗読が教えてくれたこと —

朝日カルチャーセンター講師
元京都放送アナウンサー

富田 信子氏 (S32文英)

講師は朝日カルチャーセンター講師としてまた図書館で「本の読みかきかせ」をされる中で、口で語られ耳で聞くことの大切さを主張されてきました。総会の席でも「こぶとり」や「ちいちゃいちゃい」を語りはじめられると、会場の雰囲気は、おはなしの世界に変わりました。さらに声を出す

ことを勧められ、全員で「夏は来ぬ」を合唱し、その快さ、楽しさを体験させていただきました。

当日の講演の内容を、講師の文章で下段に紹介させていただきます。

かつては家庭の中のことばのやりとりや音読の習慣には、「ふれあい」—すべての五感を通して—や「声に出して読む」ことの大切さを教えるものがありました。しかし、今日の生活空間ではふれあいやことばを通しての人とのかかわりはかなり希薄になっていきます。聞き手を前にしておはなしを語ったり、物語絵本を読んでいますと、送り手と受け手との、そして聞き手同志の共感し合うハーモニーのよくなふれ合いを感じます。絵

30年前になりますが、公共図書館の児童室で、週一回、本の読みかきかせをしてほしいと依頼されました。それ程むずかしいことではないと引きうけてはみましたが、家庭でわが子に読んでやるのとは異なる多少の制約にも遭遇しました。そこでは「絵本」を読みかせるのがよいことに改めて気づきました。たまたま音声言語を使うことに障害を持つお母さんの何人かが「せめてわが子になまの声を聴かせて！」と願って図書館の私の読みかきかせに子供をつれて来て下さることも励まされました。この仕事は今も何とか続いています。

本や昔ばなし、そこには一つの文学があり、声に出して読むことはイメージを定着させてくれます。幼児期のこの追体験こそが、やがて大人になった時、抽象的な論理や思考の基礎になっていくに違いないと信じます。

長い長い時間、口承という耳言葉で語りつがれ、時の流れに濯がれて生きていく昔話こそその素材の洋の東西を問わず、人に勇気と力を与えてくれます。溢れる人間性は簡潔で普遍的な表現を借りながら人の在りようを教えてくれています。そこに登場する人物たちはよく働き、泣きことを言わず、立派に自立しています。親しんでみてください。先人が教えてくれた「言霊」に励まされ、音声言語を磨いてゆくために朗読をお試しください。言葉のひびきを愉しみながら想像力を豊かに！あなたの発声こそが、豊かな発想を生み、育んでくれることでしょう。

富田信子

平成16年度支部総会(予定)

平成16年6月6日(日)

神戸ポートピアホテル

— 哀 悼 —

藤井 緑様 (S16A家)	H14. 7. 24没
関口 ふみ様 (T13臨数)	H14. 11. 8没
池内ひとみ様 (S46理動)	H15. 6. 14没
(S48理修生)	

若草だより



若草の活動報告と予定

平成15年5月25日(日) 第11回若草定例会
 7月12日(土) 一絃琴(須磨琴)の調べにのせて
 10月25日(土) 第3回逢うたむパーティー

平成15年度若草運営委員

(北区) 出井 葉子 (078-581-7215)
 杉村 裕子 (078-952-3524)
 (須磨区) 三輪 孝子 (078-791-2007)
 堀 裕子 (078-735-2293)
 土井 都 (078-731-2000)

早春の会のご案内

日時: 平成16年2月21日(土) 11:30~13:30
 場所: 梅の花 神戸元町店 (078-326-7308)
 会費: 4,000円
 申込: 1月31日(土) 三輪まで電話かFaxで

逢うたむパーティー

H14年度若草運営委員

藤井 勢子(S48家食)

広い海原に棲む魚や、大空を自由に飛び交う鳥なら世界を股にかけてたくさんの仲間達と出会うチャンスも無限だろうにと思ったりもするけれど、それでも群を成して生きていて意外と限られた仲間しか知らないのかもしれない。人間社会も然りで、これだけ多くの人が周りにいても一日の内、言葉と交わし合う人が何人いるだろうかと思うと、私など十人位なものでそれも毎日ほぼ同じである。日常のサイクルを少しかき回す何かが生まれこない。通りすがりの人では駄目なのです。

若い人達の出会いの場を、同窓会という大勢の人の、各人のつながりの中から信頼できる形で作っていかうという試みも昨年で二回目。まだまだやり方等、試行錯誤状態。参加者、御紹介者に支えられて、昨年人数だけは60、70名と盛況。参加者に自由に話し合ってもらおうという形式をとったけれど、もっと工夫すべきだったと反省している。

参加者に満足してもらえ、この場が期待にそうこのことのできる場になるには、会の運営も改善してい

かねばならないが、何よりも多くの方に、逢うたむパーティーの存在を知っていただき、声をかけていただく事だと思ふ。3回目の逢うたむパーティーの盛会と成功を祈ります。

昨年御紹介下さった方々、御参加くださった方々に遅ればせながら御礼を申し上げます。次回も多数の御参加を希望しています。

一絃琴の調べにのせて

中村 真理子(S61家生)

7月12日、須磨寺にて一絃琴の演奏を鑑賞しました。一絃琴は1枚の板に1本の絃を張っただけのものですが、須磨琴保存会の先生方の手により、たいへん趣のある音をだす楽器となります。そのすばらしい演奏と緑鮮やかな草木がもたらす風景に、浮世の憂さもしばし忘れ、源平のロマンを偲びました。さらに、住職のお話を伺いながら境内を散策し、神戸・須磨に縁のある方々の句碑・歌碑を鑑賞しました。

その後、須磨温泉の寿楼・臨水亭で昼食をいただき、最後に平家ゆかりの「青葉の笛」を斉唱して散会しました。梅雨空の下、心配された雨もバラリと降る程度で、参加者20名、須磨を満喫しました。



須磨琴演奏者を囲んで

アンケートから -その1-

奈良女で学んで良かったこと

- ・「優秀な友人に出会うことができ、今でも交流を続け、新しい刺激を受けている。」……………(70才~)
- ・「歴史ある地で、少人数の授業で先生方と身近に接することができ、寮生活では友と語り明かした。」(50才代)
- ・「社会でリーダーとしてご活躍の先輩から卒業後も身近に自分の生き方に影響を受けられた。」……………(50才代)
- ・「和やかな雰囲気。何でも我慢強く、根気よくチャレンジする姿勢。」……………(20才代)
- ・「事実に即し、根拠を持ってものを言う事を学んだ。男女の能力に差がないことを知った。」……………(60才代)

睦会だより

平成14年度「睦会」の 当番を務めて

中島 悦子(S34文地)

もう20年以上も前、故三浦智春様から、兵庫県佐保会の60歳以上の人で「睦会」というのを作っていると伺いました。その時は、まだまだ遠い先のことだと思っただけですが、「光陰矢の如し」でいつの間にか有資格者になり、当番を務めなければならぬ年が回ってきました。

前年度の方から引き継ぎを受けたあと、まず手分けして県内の同期生19人に電話で連絡をとり、準備会には県内各地から10人が集まりました。

準備会での主な相談は、会場選びとアトラクションでした。会場は舞子ホテルにしました。それまでの三宮から神戸の西部に移すことに多少の不安がありました。舞子は、明石海峡大橋の開通後JRの快速が停車するなど便利になり、西神戸の観光スポットにもなっていることなども考慮して決めました。アトラクションは皆様に折り紙をしていただくことになりました。

当日の11月10日は幸い良いお天気でした。広い庭園に面し、

椅子席になっていて座敷の立派な欄間や扁額が落ち着いた雰囲気を作っている部屋で、ホテル自慢の会席料理を味わい、近況報告や歓談のひとときを過ごしていただきました。そのあとの折り紙の箱作りにも快く参加していただきました。ご協力ほんとうにありがとうございました。

睦会平成16年度当番
昭和36年3月卒業生

アンケートから -その2-

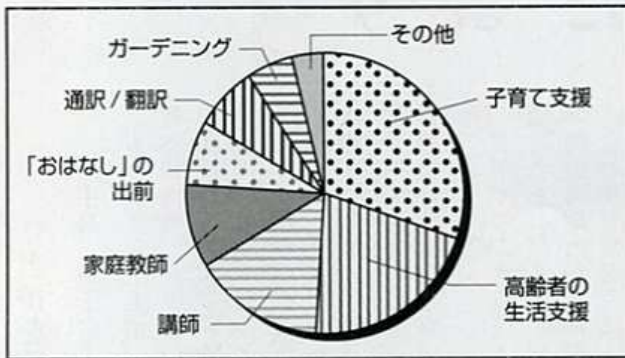
好きな音楽

- 1位 クラシック
2位 日本の唱歌
「青葉の笛」「故郷」「母さんの歌」など
3位 シャンソン
4位 ジャズ
番外 中島みゆき、トワ・エ・モア、V6、井上陽水、小野リサ、平井堅

平成15年度 地区リーダー&もより会報告

会員数	地区名	氏名	卒業年学部	もより会報告	会員数	地区名	氏名	卒業年学部	もより会報告
79	東灘区	瀬 正子 森口 房子	S37家食 S43理数	15.4開催 16.4予定	48	明石市	内匠 慶子 寺田 翠	S18保 S37文幼	15.11予定
37	灘区	世原 順子 榎本 邦子	S32文史 S32理数	15.9.7開催	31	加古川市	永田登喜代	S45理数	毎年秋予定
34	中央区	右田 俊子	S52理物	15.秋予定	12	高砂市			
10	兵庫区	田中加代子	S47文教		9	加古郡	田中 明子	S43文幼	
14	長田区	赤松 和子	S52文教		14	三木市	森本 寿美	S49理化	15.秋予定
46	北区	小池 典子 村上美枝子	S33文英 S36家被	15.6.16開催	8	加東郡	田中 幸恵	S48家修住	
42	須磨区	山田 桂子 中島 悦子	S31文幼 S34文地	15.4.19開催	1	多可郡			
59	垂水区	大田奈緒美 都筑久美子	S37理化 S37家被	15.1.開催 16.1.予定	3	西脇市			
49	西区	山中 邦子 新小田淑子	S53文英 S59理化	15.秋予定	2	小野市			
51	尼崎市	藤岡 利子 正岡 康子	S38家被 S49文教	15.秋予定	3	小西市			
98	西宮市	永吉 和子 北川 清子	S34理化 S40家食	15.年度中予定	0	美轟郡			
43	芦屋市	山崎 渺美 福井千佳子	S39文教 S40理化	15.秋予定	88	姫路市	須磨岡ひろ子 三木 民子	S41理化 S41理植	15.9.28開催
32	伊丹市	塚口 郁子 都築 暎子	S35家住 S37家食	15.11予定	6	相生市			
73	宝塚市	植田 明子 中島恵美子	S32家住 S50理物	15.11予定	4	赤穂郡			
43	川西市	川口登美子 石原 範子	S39家食 S47理物	16.春予定	1	赤穂郡			
6	川辺郡				1	佐野郡			
					7	龍野市			
					15	揖保郡			
					13	神崎郡			
					5	飾磨郡			
					4	穴栗郡			
					13	但馬地区	米田 純子	S40理動	15.秋予定
					18	三田市	河野 薫子	S41理化	
					4	篠山市	小林 嘉子	S37家被	
					7	氷上郡	足立 瑞穂 廣内 保子	S42家修食 S44理植	
					13	淡路地区	由井 弥生	S42家被	15.1開催

人材バンクづくりの内訳



「最近どちらかと言うと嫌なこと、不安なことが多いので、元気が出て楽しくなるような支部だよりを作りたい。」編集委員のそんな思いから、皆様の好きなもの、したいことを聞かせていただこうと、アンケートを企画しました。

5月25日の支部総会の席上で、また参加されていない会員の一部の方には郵送でお願いしました。おかげさまで会員の約一割にあたる一〇五名の皆様から回答をいただくことができました。アンケートの結果を以下の1から6までに報告します。

交流で元気を！

左保会「元気が出るアンケート」より

1 アンケートから「元気になる」を読む

アンケートに書いていた「好きな音楽」や「奈良でいちばん好きな場所」等の結果は、アンケートからまとめて、紙面の4、5、6、10、12ページに載せました。ぜひ読んでください。

また紙面の都合上得意な料理については割愛させていただきましたが、季節や素材や年齢に応じた食生活の工夫をご提唱くださいました。

2 人材バンクづくり

あらゆる年代から希望が多かったのは人材バンクづくりでした。

円グラフが示すように、子育て支援と高齢者の生活支援の希望が多くでした。子育て支援の希望者は働きながら子供を育てている年代だけでなく、半数は若い人を応援したいという年長者でした。また、高齢者生活支援は、今ある介護サービス以外で、生活支援を佐保会員に依頼したいと望む声が多数ありました。

また、アンケートに書かれた能力（講師・家庭教師・おはなしの出前・通訳・翻訳・ガーデニング）以外にもまだ

アンケートから -その3- 奈良でいちばん好きな場所

1位 東大寺裏

今小路～戒壇院・池のほとり～二月堂

静かな池のほとりへ、一人課題を抱えて行きました。

二月堂が部活のトレーニング場所。長い石段を駆け上がったときに見える景色が最高でした。

2位 飛火野

浮見堂、ささやきの小道

寝転んで夜空を見ながら語り合いました。

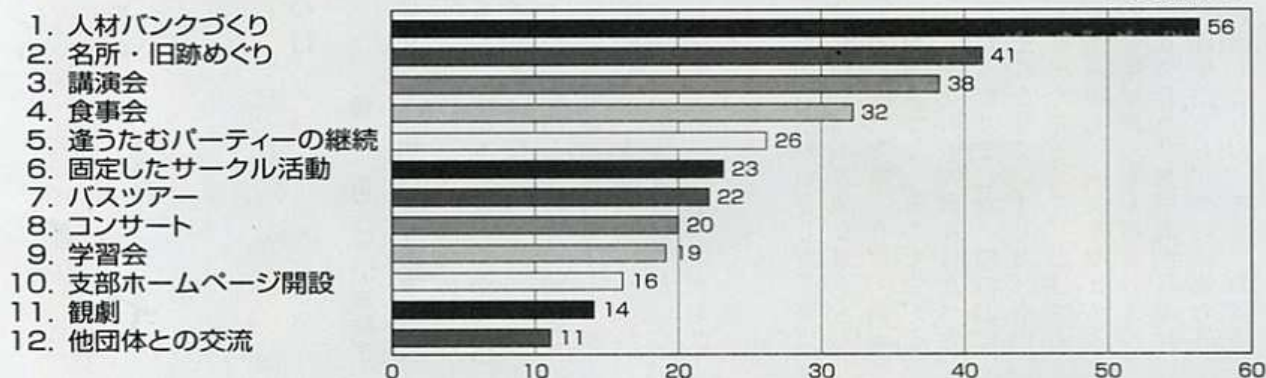
阿修羅像が好き！

3位 興福寺

猿沢の池、五十二段

問. 今後の佐保会の支部活動に望むことは何ですか? (複数回答)

回答者数 105



世代を超えた交流

まだ活躍できる分野がありそうですね。
このような希望も人材バンクという窓口を作れば、埋もれている能力を発揮でき、会員相互の生活支援もできるのではないのでしょうか。

3 支部の活動が世代間の交流を

婦人学級や若草の主催する名所・旧跡めぐり、講演会、食事会、バスツアーにも、広範な支持がありました。

「いろいろな年代の人と接することができて楽しい。」
「先輩の姿を見ながら自分の生き方を考える事ができた。」
「テーマに社会性があるので勉強になる。」等。

4 逢うたむパーティー

(独身男女の出逢いの会)
昨年までに2回開催されました。若い会員の参加希望の声や、知人や家族を紹介したいという50才以上の会員の支持があり、今秋3回目の開催に期待が寄せられています。

5 身近で親交を深める「もより会」

「佐保会でいちばん良い所は？」と言う質問に「もより

「^{とうかえ}なら燈火会」を知っていますか
—今年4年目を迎えた新しいイベント—
【8月6日～15日】
奈良公園一帯に8千個ものろうそく等
の灯りがならべられ、
幻想的で魅力的な光景です。

会」と答えた人が14名もありました。身近で会えるのが楽しく、回数を重ねることに信頼も深まっているのでしよう。

6 ボランティアへの参加

障害者の作業所でボランティアをしていらっしゃる方をはじめ、佐保会でのボランティアへの参加を呼びかける声がありました。

奈良女子大学を卒業して新たに入る佐保会。年齢も職業も話題も違う会員の集まり。先輩とは何を話していいかわからない。後輩は何を考えると不安の中で始めたアンケートを集計する中で、年齢を越えてお付き合いできる良さを答えて下さった方の多さに驚きました。身の回りの狭い人間関係にとどまらず、佐保会の世代を越えた交流で元氣を出しましょう。

さわやか便り

ある日

橋尾 信子(S32理物)

ひと月に1回加西市の図書館で、4歳から小学校2年生までの幼児を対象に、「絵本の読み聞かせ」の会をもっている。

わずか半時間とはいえ、幼児たちを集中させるのに苦労する。紙芝居をいれたりもする。

ある日、「愉快なお粥」という有名なストーリー・テリングを試みた。

貧乏な女の子がいました。森に住む魔女から、不思議な鍋をもらいました。呪文を唱えれば、鍋からお粥が湧きでてくるのです。その日から、女の子の家族は食べ物に困らなくなりました。隣のおばさんがそれを見ていました。女の子が家を出たのを見て、おばさんは鍋を盗み出し、呪文を唱えてみしました。粥は鍋の底からふつふつと出てきました。粥が鍋から溢れだし、部屋からも、ついに家の外へ流れ出しました。でも、おばさ

んは、粥をとめる呪文を知りませんでした。

この話を始めて15分もすると、騒がしくなった。絵も示さないで、話術だけで、子供を引き付けるのは、却って難しいと、後悔し始めていた。私は自信はなかったが、子供に注意を与えないまま話をすすめていった。

粥が町中に広がり始めたとき、一人の子供が声をあげた。

「早よ、女の子を呼んで来なあかんわ」

子供は話は聞いていたのだ。話を中断しなくてよかった。子供の集中力を乱さなくてよかった。

私は嬉しかった。町に帰って来た女の子といっしょになって、気持ち良く話を終わらせることができた。子供は信用していい。すぐれたお話と説得力のある話術があれば。

この日、私は胸の膨らむ思いだった。私の生きていく喜びは、こんなささやかなものである。

四人の子育て奮戦中

岡田 恵子(S61理数)

原稿のお話をいただき、「どうして私が？」とおたずねしたところ、子供四人を育て、元気に外で仕事もしているからということでした。というとかっこいいのですが、夫の両親と同居しており、子育てを手伝ってらっしゃいますし、仕事も、長男が私学に通い、長女も私学受験の勉強中で教育費がかかるのでしているのです。また、長男の英語の成績、長女の成績、姑の病気など悩みがつきません。

そんな中で、自分に言い聞かせている言葉は、「人生、いいこと」が二くらいあれば、後の八は「大変なこと」があるものだ」と「捨てる神あれば拾う神あり」です。

長男は昨年、憧れの中学に合格しましたが、成績がもう一つで、昨年一年親子共々暗い毎日でした。でも、「いいこと」についてきた「大変なこと」だと、まずはできる方の数学から引く張っていきこうと励ましましたら、なんとか、成績が伸びてきて、元気に頑張っております。

受験勉強中の長女の方も、悩んでいる時には、長男の受験時に親しくなった方など、アドバイスをくださる方がおり、助かっております。「拾う神」こそ本当の神様

ではと思います。

しかし、姑の病気の方は、難病で、通院での治療なのですが、家でのフォローが大変になってきております。

でも、何とか元気に頑張っております。

明るく前を向いて元気にいきましよう。幸せが逃げちゃいますから。

「医食同源」の実感

西池 珠子(H10人博生)

私は現在、医学部基礎医学系の研究室に勤務しています。学部から大学院まで奈良女子大学で食物の勉強をしていて、突然全く環境の異なる医学部に身をおいたのですが、それが私を新しい視点に立たせてくれました。

私の所属講座は衛生学と言います。就職して間もない頃、どちらを向いても知らないことばかりの私に、衛生学とは「生(いのち)」を「衛(まも)る」学問だと教えて下さった先生がありました。病気を治すよりもまず、病気にならないように衛(まも)るのだと。その先生にとつては何でもない一言に過ぎなかったのですが、私にはとても新鮮で感動的な言葉に聞こえました。以来、短い時間ですが、種々の病気の発生機序や防御因子等、様々

ブータンあれこれ

林 茂代(S32文国)

〈風に乗るお経〉

クラスメートで写真を趣味にしている山中さんに誘われてブータンに行った。ブータンはインドとチベットにはさまれたヒマラヤの見える国だ。首都ティンブーは標高二四〇〇メートル。町を囲む急な斜面にはあちらこちらに五色の幟が立てられて風にはためいていた。よく見ると細い横縞が入っている。これはぎっしりと書かれたお経で、幟が風に吹かれるとお経が空中に流れていくのだという。

ティンブーから冬の都だったプナカへ行く途中に標高三二〇〇〇メートルのドチュラ峠がある。ここでも無数の幟が立てられ、頭上に渡した綱にも長い布が付けられてヒマラヤからの風になびいていた。幟に囲まれた白い仏塔の基壇には三角形のお結びに似たものが並んでいる。

白いのほりだけが集まっているのは最近亡くなった人への供養のためのもので、この国では墓は作らないそうだ。魂は不滅で転生すると信じられている。肉体は単に魂の入れ物に過ぎなくて、魂が去ってしまったら用のない空の容器になる。そこで火葬にしてしまうのだが、残った灰は小さな三角形の団子にして仏塔の基壇においてくるのだという。団子は風雨に晒されてやがて土に還っていく。信仰厚い人々の魂は空中に

流れるお経といっしょに風に乗る、新しい転生の地へ運ばれていくのだろう。

〈ブータン折り紙教室〉

風の谷と呼ばれるウオンディフォダへ行くこうとドチュラ峠へ上っている途中でバスが不意に止まった。パンクだという。道のそばの急斜面の畑に子供が二、三人いるのを見つけた山中さんがカメラを持って降りたのに続く。はに



かみながら被写体になってくれたお札に昨夜作った折り紙の風船をやるよ、あつという間に子供たちが集まってきた。3歳ばかりのあどけない女の子から泥んこの手を出すやんちゃ坊主まで、どこにいたのだろうと思うほどだ。手持ちの風船もだまし舟も鶴もすぐ無くなった。そこで百円ショップで買った折り紙を引っ張り出し、道路にしゃがんで折り始めると、さつき

もらったのを片手に隠してもう一方の手を出してくる。「だめ! そっちに持ってるじゃないの。」というとき、ばれたかという顔でにやりとする。ちよつと長めのピンクのワンピースの子が自分より年上らしい子もひっくるめて皆を仕切り始めた。すばしい目付きをしている。「あなたもうもろたやないの。今度はこの子や。」などと言っているらしい。

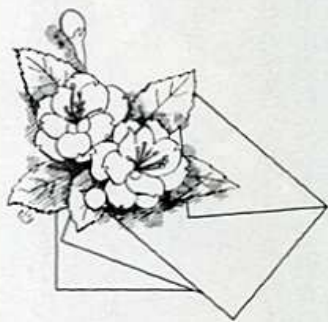
山中さんが少し大きい子供たちには折り紙を教え始めた。折ってやるのでは間に合わないというわけだ。「一番早く鶴の折り方を覚えた男の子は、今度はあなたが教えるのよ。」と(日本語で)言ったら、早速ほかの子に教え始めたそうだ。山中さんは「ヒコキね。これはツル。これはダマシブネ。」などと日本語で教えている。飛行機を折りあげた子が「ヒコキ」と言いながら飛ばし始めた。

パンクの修理ができて、さあおしまいとバスに引き上げかけると、子供たちはぞろぞろついてきて道端に重なり合って並び、ニコニコしながら手を振った。山中さんは「ブータンには賢い子がいる。難しいツルの折り方をすぐに覚えてほかの子に教え始めた。」と盛んに感心している。「ブータン折り紙教室の始まりやねえ。」と笑ったが、ツルとかヒコキなどという日本語と折り紙が広がっていったら楽しさう。珍しいものに飛びついて集まってきた子供たちは、はるか昔の、皆で遊びまわっていた日本の子供たちにそっくりだった。

なことを勉強して強く感じたのは、「医」と「食」はどちらも生命を維持し健康を保つためのもので、本質的に同じものである、すなわち「医食同源」ということでした。それからは、奈良女子大学で培った「食」に関する知識を土台にして様々な病気の予防に貢献するというのが私の目標になっています。

今、私が興味を持っているのは、生活習慣、特に食習慣と血液中のHDLコレステロール(いわゆる善玉コレステロール)の分解量との関係で、これが動脈硬化や脳卒中の予防に役立つのではないかと考えています。実験とデータ検討の繰り返しハードな毎日ですが、失敗しながらも少しずつ面白い結果が出てくると、やる気と元気が沸いてきます。

健康で幸せに生きることはすべての人の望みだと思います。そのために役立つ正しい情報を発信していきたいので、私はこれからも「食」を通して研究を進めていきたいと思っています。



佐保婦人学級

平成15年度・16年度運営委員

鈴木 久子 (06-6491-9481)	川口登美子 (072-793-9624)
寺田 翠 (078-911-5364)	大橋 節子 (078-792-1440)
射延 瑞枝 (0794-84-1998)	田中 幸恵 (0795-42-3821)

入会は随時 佐保会員以外の入会も歓迎
会費 年間3,000円、当日のみの参加500円



H14・バスツアー 石山寺にて

平成15年12月～16年12月 年間予定(第21～22回)

月日	内容	会場	時間	講師(敬称略)	備考
H15.12.17 (水)	料理 「おもてなし料理」	生活創造センター 4階創作工房	11:00～15:00	生活創造センター 専属講師 荻田英代	材料費 1,000円
H16.2.18 (水)	「和綴じ本」を作る	神戸市立勤労会館	13:00～15:00	本郷良子	材料費 800円
3.10 (水)	閉講 音楽を楽しむ	神戸市中央区北野 利宮館	11:30～14:00	針生祐子	昼食付 4,000円
4.13 (火)	開講 文学 「女性の生き方」	神戸市立勤労会館	13:00～15:00	秋里三和子	
5.11 (火)	花と緑を求めて	淡路島	集合 10:00 JR舞子駅		費用 2,000円
6.8 (火)	書道 「万葉がな」	神戸市立勤労会館	13:00～15:00	川口登美子	細筆
7.18 (火)	手芸 「小物作り」	神戸市立勤労会館	13:00～15:00	都筑久美子	裁縫道具
9.7 (火)	文学 「和歌について」	神戸市立勤労会館	13:00～15:00	竹崎美佐保	
10.12 (火)	美術鑑賞	神戸市立博物館	未定	学芸員	
11.9 (火)	童謡「赤とんぼ」の 里を訪ねる	バスツアー 小京都龍野 醤油工場見学	集合 8:30 三宮東急イン前		費用 6,000円
12.14 (火)	講演会	神戸市立勤労会館	13:00～15:00	交渉中	

😊 アンケートから -その4-

——現在の趣味——

- 全世代を通じて 読書、手芸
- 20～40才代は仕事や子育ての付き合いの中で出会う趣味
フラワーアレンジメント、パソコン、パン作り、
トールペインティング等
- 50才代から一気に多方面に
ダンス、陶芸、絵画、スポーツ、音楽等
- 60才代からはさらに 旅行、書道、短歌、俳句、
能楽、彫物、演劇鑑賞、外国語、ガーデニング
等

佐保婦人学級に参加すると、いつもこの言葉を実感いたします。「教育について」「文学について」等のお話を聞いた時、自然の中で移ろいを感じた時、自分の手で作品が完成した時……ここに新たな感動が生まれ、その喜びを共有できることを大変嬉しく思っています。講師の方々に導かれ、会員の皆様にご協力いただき、地道な歩みを続けています。年間の活動内容をご覧になって関心をお持ちの方はいつでもご参加ください。

一生感動

一生青春 みつを

寺田 翠(S37文幼)

「佐保婦人学級」の係から

事務局便り

平成14年度事業報告

- 第10回 「若草」
- 第20回 「佐保婦人学級」
- 5月26日 神戸ポートピアホテルで支部総会及び第10回「若草」定例会

- 8月23日 地区リーダー会
- 11月1日 第26号「支部だより」発行（中央区・兵庫区・長田区担当）
- 11月10日 「睦会」（於「舞子ホテル」昭和34年卒業生担当）

平成15年度事業計画

- 第11回 「若草」
- 第21回 「佐保婦人学級」
- 5月25日 神戸ポートピアホテルで支部総会及び「若草」定例会
- 8月22日 地区リーダー会
- 11月1日 第27号「支部だより」発行（北区担当）

- 「佐保会兵庫支部名簿」発行（名簿は、平成7年度以降一度でも会費を納めていただき、動静のつきりしている方にお届けすることにいたします。）
- 11月29日 「睦会」（於「舞子ホテル」昭和35年卒業生担当）

平成15年度 支部役員

役名	氏名	卒業年学部	住所
支部長	秋里三和子	S27 文	北区
副支部長	川口登美子	S39 家食	川西市
	三輪孝子(若草)	S49 理化	須磨区
事務局	鈴木久子	S37 家食	尼崎市
	寺田翠	S37 文幼	明石市
	大橋節子	S41 文英	須磨区
	射延瑞枝	S42 家被	三木市
会計監査	加藤澄子	S31 文幼	垂水区
	藤岡利子	S38 家被	尼崎市
本部理事	秋里三和子	S27 文	北区
	貴田康乃	S29 家住	西宮市
本部評議員	大久保勝美	S31 文国	北区
	光長紀美子	S34 理生	芦屋市
	寺田翠	S37 文幼	明石市
	瀬川順子	S41 文英	中央区
佐保会学園理事	浅野晶子	S23 家	中央区
佐保会学園評議員	大田奈緒美	S37 理化	垂水区
大学婦人協会役員	中村京子	S32 理物	東灘区
	岩城尚子	S33 文国	芦屋市
	吉江順子	S35 文社	宝塚市
	樋口由美子	S49 家被	芦屋市

平成14年度会計報告並びに平成15年度会計予算

収入の部			支出の部			
費目	平成14年度決算	平成15年度予算	費目	平成14年度決算	平成15年度予算	
前年度繰越	2,639,492	2,852,716	本部会費	979,500	945,000	
会費	2,394,500	2,305,000	总会補助費	111,776	170,000	
内訳	}	}	通信印刷費	230,485	180,000	
			本部会費	979,500	945,000	
			交通費	48,540	70,000	
預金利息	24	50	事業費	名簿印刷費	150,000	150,000
本部より補助	54,320	54,000		名簿送料	0	180,000
寄付	1,500	0		支部だより印刷費	200,000	200,000
合計	5,089,836	5,211,766		睦会補助	50,000	50,000
				若草補助	50,000	50,000
				佐保会婦人学級補助	50,000	50,000
				リーダー会経費	45,786	60,000
				もより会補助	95,500	108,000
				慶弔費	111,969	100,000
				事務費	113,564	120,000
			予備費	0	5,000	
			小計	2,237,120	2,438,000	
			次年度繰越	2,852,716	2,773,766	
			合計	5,089,836	5,211,766	

資産内訳(H15.3.31現在)

定額郵便貯金	1,850,000
郵便貯金	73,528
振替貯金	861,220
現金	67,968

計 2,852,716

名簿印刷用積立金 380,000

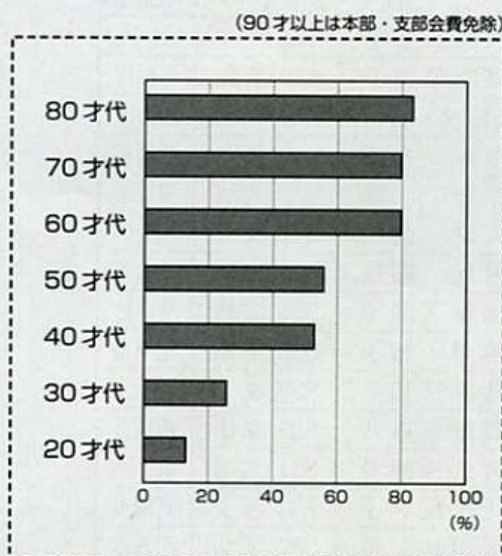
(別途友愛貯金)

定額郵便貯金	891,000
郵便貯金	6,872
現在高	897,872

平成15年度新入会員

卒業学部	氏名
文 比 歴	松 島 理 恵
文 社 情	武 本 和 子
文 日 亜	森 崎 未 央
文 教 文	新 家 沙 織
文 教 文	宮 内 梢
文 人 間	高 野 尚 子
文 ス ポ	宍 戸 梨 都 子
理 数	柏 木 渚
理 数	西 原 恵 美
理 物	角 野 千 尋
理 物	谷 本 曜 子
理 物	富 田 洋 子
理 物	川 井 理 恵
理 化	玉 木 千 恵
理 生	早 田 佳 代
理 生	福 岡 依 子
生 環 ア バ	白 井 理 恵
生 環 文	別 府 直 子
生 環 文	橋 本 桃 子
生 環 住	下 川 純 子
博 前 環	田 中 敬 子
博 前 人	山 瀬 浩 子
文 言 情	浦 野 絵 美
文 欧 米	赤 松 宏 美
文 欧 米	萩 野 怜 子
文 人 関	平 野 裕 子
理 数	阿 部 野 知 恵
生 環 食	町 田 く み 子
理 情	部 坂 美 美
理 情	松 岡 有 希

佐保会兵庫県支部 年代別会費納入状況 (平成14年度)



会費未納の方は、同封の振替依頼書を御利用の上、納入下さるようお願い致します。行き違いで納入済の方に用紙が同封されていた場合はご容赦ください。

会費納入のお願い

アンケートから -その5- 感銘を受けた本

作家では 有吉佐和子、山崎豊子、宮部みゆき、玉岡かおる、宮尾登美子、村田喜代子、宮本輝、遠藤周作、城山三郎、五木寛之、早坂暁、大江健三郎、司馬遼太郎

外国作品 「赤毛のアン」、「ゲド戦記」、「人間の絆」、「魅せられたる魂」、「母の眠り」アナ・クィンドレン

ノンフィクション 「五体不満足」、「世界がもし100人の村だったら」、「チーズはどこへ消えた」

「神の肉体—清水宏保」、「二人介護のはざまを生きる—サンセットの街神戸から」張さつき

児童書・絵本 「のはらうた」工藤直子、「モモ」M.エンデ、「葉っぱのフレディー—いのちの旅—」

女性論 「第二の性」ポーヴォワール、「ひとすじの道」丸岡秀子、「現代の忘れ物」渡辺和子

教育・心理 岡潔、河合隼雄、「保育者論」倉橋惣三

エッセイ 志村ふくみ(染織家)、広中平祐、養老孟司

服飾・絵画 「名画とファッション」深井晃子、「あなたの手のひら・花の詩画集」星野富弘

編集後記

「出口の見えない停滞した世の中。もっと元気を出しましょう。」「内容も大事だが、読み易いものがないね。」「多くの人が参加できる紙面づくりを。」「私達の力を社会に還元しなければ。」等々話し合う中から、編集作業が始まりました。

そして原稿を依頼いたしました皆様からは、快諾が得られ、ご多忙にもかかわらず、早速原稿が届きました。心から感謝いたします。

またアンケートにご回答くださった方々には、多大なご協力をいただきました。貴重なご意見もご記入くださり、その真摯な姿勢に感激いたしました。

その結果を最大限発表すべくつとめました。残念ながら、紙面の都合で、一部割愛させていただきましたことをお許しください。

なお、編集の仕事は、先輩のご指導を受けながら、若い会員が主力となって行いました。

北区編集委員

- 小池 典子
- 佐々木智子
- 杉村 裕子
- 村上美枝子
- 出井 葉子
- 清水 陽子